



## <CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年9月25日

### アジア開発銀行のアジア経済成長率見通し（9月修正版）

#### ベトナムはアジア主要新興国で最高の成長見通し

アジア開発銀行（ADB）が25日、アジア経済の見通し（Asian Development Outlook(ADO)）を修正した。

米中貿易摩擦の影響でアジア全体的に成長率予想が引き下げられた。東アジアは5.7%から5.5%に、東南アジアは4.9%から4.5%、中国は6.3%から6.2%、インドも7.2%から6.5%へと引き下げられた。（いずれも2019年の経済成長率予想）

ADBは成長見通しのリスクとして貿易の低迷、投資の減少をあげている。

ベトナムは6.8%の見通しが維持された。米中貿易摩擦によって恩恵を受ける側面をもつ同国は、アジアの主要新興国では最も高い経済成長が見込まれている。

国・地域		18年*	19年		20年	
			前回	改定値	前回	改定値
東アジア	全体	6.0%	5.7%	5.5%	5.5%	5.4%
	香港	3.0%	2.5%	0.3%	2.5%	1.5%
	中国	6.6%	6.3%	6.2%	6.1%	6.0%
	韓国	2.7%	2.5%	2.1%	2.5%	2.4%
	台湾	2.6%	2.2%	2.2%	2.0%	2.0%
東南アジア	全体	5.1%	4.9%	4.5%	5.0%	4.7%
	ベトナム	7.1%	6.8%	6.8%	6.7%	6.7%
	インドネシア	5.2%	5.2%	5.1%	5.3%	5.2%
	マレーシア	4.7%	4.5%	4.5%	4.7%	4.7%
	フィリピン	6.2%	6.4%	6.0%	6.4%	6.2%
	シンガポール	3.1%	2.6%	0.7%	2.6%	1.4%
	タイ	4.1%	3.9%	3.0%	3.7%	3.2%
インド	6.8%	7.2%	6.5%	7.3%	7.2%	
アジア全体	5.9%	5.7%	5.7%	5.6%	5.6%	

\* = 実績

アジア全体は45か国・地域

出所：ADBのデータを基にキャピタル アセットマネジメントにて作成

以上